

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女子

男子 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立高松商業	16	11	6	四天王寺
		5	11	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

共に前年度選抜大会 3 位どうしの対戦。四天王寺のスローオフで試合開始。開始早々、高松商業が先取点を取る。四天王寺は速いパス回しからセンターのミドルシュートを狙うが得点が決まらず、その間にも高松商業は速攻を交え 10 分経過で 4-1 とリード。四天王寺が徹底したロングやミドルシュートで攻め続けるのに対して、高松商業は速攻とポスト攻撃で対抗し 20 分で 8-3 と少しずつ差を広げる。終了間際、ようやく四天王寺 13 番高木のロングシュートが決まり連続得点をあげるも高松商業が 5 番中條の要所での効果的なシュートで 5 点差を守ったまま前半が終了。

後半 4 分に四天王寺、6 分に高松商業、ともに退場者が出たのをきっかけに得点を重ねる。四天王寺の 15 番西村の 5 得点をあげる活躍があり 20 分経過時点で 15-15 の同点に追いつく。さらに 15 番西村の 6 得点目で四天王寺がようやく逆転。すかさず高松商業が同点。残り 3 分で四天王寺が 1 点をとって 17-16。高松商業もシュートを放つがキーパーのナイスセーブに阻まれる。残り 30 秒、高松商業が攻め続けるが、四天王寺が守り切り 1 点差で勝利をおさめる。

2016 年 3 月 26 日

記載者氏名 石井 慎也

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

女子

男子 女子 3 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立浦添	21	8	15	名古屋経済大学市邨
		13	11	
		-	-	
		-	-	
		-	-	
		7mTC		

3回戦、ほぼ互角の立ち上がりで、浦添の攻撃のミスから名古屋経済大学市邨が速攻をしかけるもなかなか決めきれない中、7分過ぎから名古屋経済大学市邨の7番柴田の連続得点、そして18番伊藤の速攻により3点差となった。一方、浦添は名古屋経済大学市邨の0-6ディフェンスに攻めあぐむもののなんとか1点差まで差を縮めたが、名古屋経済大学市邨の連続得点により再び3点差となり15分過ぎに浦添はタイムアウトをとった。その後も名古屋経済大学市邨が優位に試合を進め、4点差になったところで浦添は2回目のタイムアウトを取った。しかし、浦添の13番儀間が退場となり1人少なくなり、それを活かした名古屋経済大学市邨が優位に試合を進め、前半終了時には7点差をつけた。

後半、浦添はディフェンスを前に出して名古屋経済大学市邨にプレッシャーを与えるが、機動力をいかして3連続得点をするなどし差が11点まで広がった。浦添も10分過ぎから徐々に差を縮め、7点差まで詰めたところで名古屋経済大学市邨がタイムアウトを取った。動きが鈍くなった名古屋経済大学市邨を浦添は3連続得点するなど攻めたが、前半の差が大きく名古屋経済大学市邨が勝利した。

2016年 3月 26日

記載者氏名 真瀬田 英雄

戦 評 用 紙

男子

男子 ・ 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名															
藤代紫水	32	<table border="1"> <tr> <td>12</td> <td>-</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>-</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3">7mTC</td> </tr> </table>	12	-	7	20	-	14	-	-	-	-	-	-	7mTC			21	横浜創学館
12	-	7																	
20	-	14																	
-	-	-																	
-	-	-																	
7mTC																			

3回戦、藤代紫水（茨城）と横浜創学館（神奈川）の対戦。強豪どうしの好カードとなった。立ち上がり、先制したのは横浜、5番坂井、6番高橋のカットインからのシュートを決めた。それに対し前日の試合で活躍した紫水14番河原は厳しくマークされ、シュートを放つも得点できない。しかし、4対4の同点から、10分過ぎには、紫水の0-6DFが機能し始め、相手にチャンスを与えない。守りからの速攻や3番柿沼のポストプレーなどで6点連取するなど点差を広げ、前半は12対7紫水リードのまま終了した。

後半、横浜は15番中村が連続してシュートを決め、3点差まで追いつくも、紫水は相手のミスに乗じて3番柿沼、4番木元を中心に得点を重ね、20分過ぎには10点差となった。残り5分、横浜のマンツーマンDFに対し、紫水は勢いのまま得点を重ね、32対21で試合を制した。紫水12番GK中村の好セーブが光った試合であった。

平成 28年 3月 26日

記載者氏名 小川 健三

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

ホ

男子 3 回戦

会場 神戸国際大学附属高等学校体育館

コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
浦和学院	36	18	15	博多
		18	18	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

浦和が最初、大きくリードし、それを博多は戦法を変え猛追するも、最終的に浦和が3点差で勝利した。

前半序盤、博多は浦和のディフェンスを攻めあぐねる。博多が仕掛けるも、高いディフェンスやパス

カットにはばまれ、逆に浦和は速攻で攻め、前半中盤には9点差がついた。前半終盤、浦和の得点ペー

スが鈍る。博多は浦和のディフェンスの間隙を突くシュートなどで猛追し、前半は浦和2点リードで終

えた。

後半、博多はシューターのマーク、そして中盤以降、ディフェンスを上げて浦和に対しマンツーマ

ンで守りを固め、キーパーもよく堅守で凌いだ。2～3点差で浦和、博多の得点の取り合いが続き、

後半中盤以降は互いに退場者を出すような激しい動きのゲーム展開になった。

試合終盤の26分に浦和に退場が出るが、数的不利の中4番大島が得点。さらに2番高野が博多の退場

を誘う突破で得点し最後までリードを許さず逃げ切った。

2016年 3 月 26 日

記載者氏名 原田 邦彦